

# 中根小学校ビオトープ整備・活動

## HP 記載用ページ

平成 1 8 年 1 1 月

目黒区都市整備部みどりと公園課

学校名：19 . 中根小学校		作成年月日：H.18.07.19	調査日：H.18.05.18、10.17
施設タイプ		枠内シート型	
環境概況	植 物	・緑ヶ丘小学校ビオトープから採取した水際に生育するセリ、ミゾソバ、コガマ、セキショウ、浮葉植物のトチカガミ、ヒルムシロ、沈水植物のオオカナダモを植え付けた。	
	動 物	・緑ヶ丘小学校から採取した水草に付いていたと思われる卵から生まれたクロメダカが増えている。確認されたヒメダカは採取し、教室で飼育することとした。 ・作成当初よりオオシオカラトンボ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボなどの飛来を確認した。 ・10月には、アカネ類のヤゴ、モノアラガイ、サカマキガイが多数確認できた。	
	水 質	・当初濁りが続いたが、一ヶ月ほどで透明度が上がり、その後は、良好な水質を維持している。	
	周 辺 環 境	・周辺にはトチノキ、ハナミズキ、ヒラヤマスギなどの樹木があるが、池の南側にあるため、来年以降は定期的な剪定が必要である。 ・園芸品種の草本類は、徐々に他の花壇に移植する予定である。	
	土 壌	・作成直後で、池内及び周囲の土壌は安定している。	
活動状況	管 理 体 制	・現在の4年生が主体となって、来年の秋まで継続する予定である。具体的な作業は検討中である。来年の秋には、現在の3年生に引き継ぐ予定である。	
	管 理 状 況	・水は適切に管理されている。 ・当面は、トチカガミやヒルムシロが水面を覆うような繁茂をしないうちに、生育範囲を抑制する必要がある。	
	利 用 状 況	・4年生の総合学習で活用が始まっている。 ・他の学年などでも授業で活用する予定である。	
今後の予定・計画		・学校全体で、授業などでの活用方法、管理・観察担当児童について検討を行っていく予定である。	

#### 作成に係わる主な活動

年月日	活動内容	参加形態
H.18.06.06	ビオトープ学習会	全教職員
H.18.06.08	ビオトープづくりの目的の説明 環境づくりの学習会	全校児童 4年生
H.18.06.21	環境づくり計画発表会 最終計画案の作成	4年生
H.18.07.03 ~07.18	池掘り作業	全校児童
H.18.07.19	池の作成(泥の塗りつけ、水草の植え付け)	4年生
H.18.08.22	池作成補助作業(防水シートの整備など)	専門家
H.18.10.11	水草の抑制、看板づくり、粗朶づくりなど	4年生
H.18.10.17	生きものすみかづくり(粗朶垣、石積みなど)、巣箱づくりなど	4年生

学校教職員学習会（平成18年6月）



学校の全教職員に対し、ビオトープの基本的な考え方や、授業などでの活用方法について説明した。



ビオトープ整備の候補地。ウサギ小屋の跡地であるため、コンクリートのたたきを撤去する必要がある。



学習会（平成18年6月）



全校児童に、ビオトープづくりの目的、世話の考え方、作業をしながら学習することを伝えた。



ビオトープづくりや世話を中心になって行う4年生に、やって来て欲しい生きものを考えながら環境づくりを学習した。



計画発表会（平成18年6月）



班ごとに検討した環境づくり計画案を発表し、意見を交換した。



児童の計画案から計画地で可能なこと、必要なことを取り上げ、一つの計画案としてまとめた。



池作成（平成18年7月）



全学年の児童が参加して掘った池。深い部分を二ヶ所つくった。



作成当日は雨にも負けず、池に入れる田んぼの泥をみんなでバケツリレーをして運んだ。



泥付け班は、受け取った田んぼの土を池の壁に貼りつけ、水草を植えられるようにした。



泥を付け終わった後、水を入れて深さを確認しながら岸边づくりを行い、水草を植えた。



池作成補助作業（平成18年8月）



作成時、雨のため十分に植え付けができなかった水草を植えた。岸边は、草はらができるように土を増やした。



池の中や水中を観察しやすいように、橋を架けた。給水口は、わき水のような形にした。



水草取り（平成18年10月）



水面を広く覆うようになったトチカガミを減らした。観察のため、水中の生きものを採取した。ヤゴ、メダカ、モノアラガイなどが多数採れた。



ビオトープの名前や観察できる生きものの絵を書き込んだ看板をつくった。



すみかづくり（平成18年10月）



剪定した枝や石を使って、カナヘビなどの爬虫類や昆虫類、ヒキガエルなどがすめる環境をつくった。



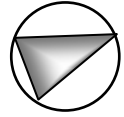
中根公園の落ち葉シクの腐葉土を使い、ポットにドングリなどを植え付けた。



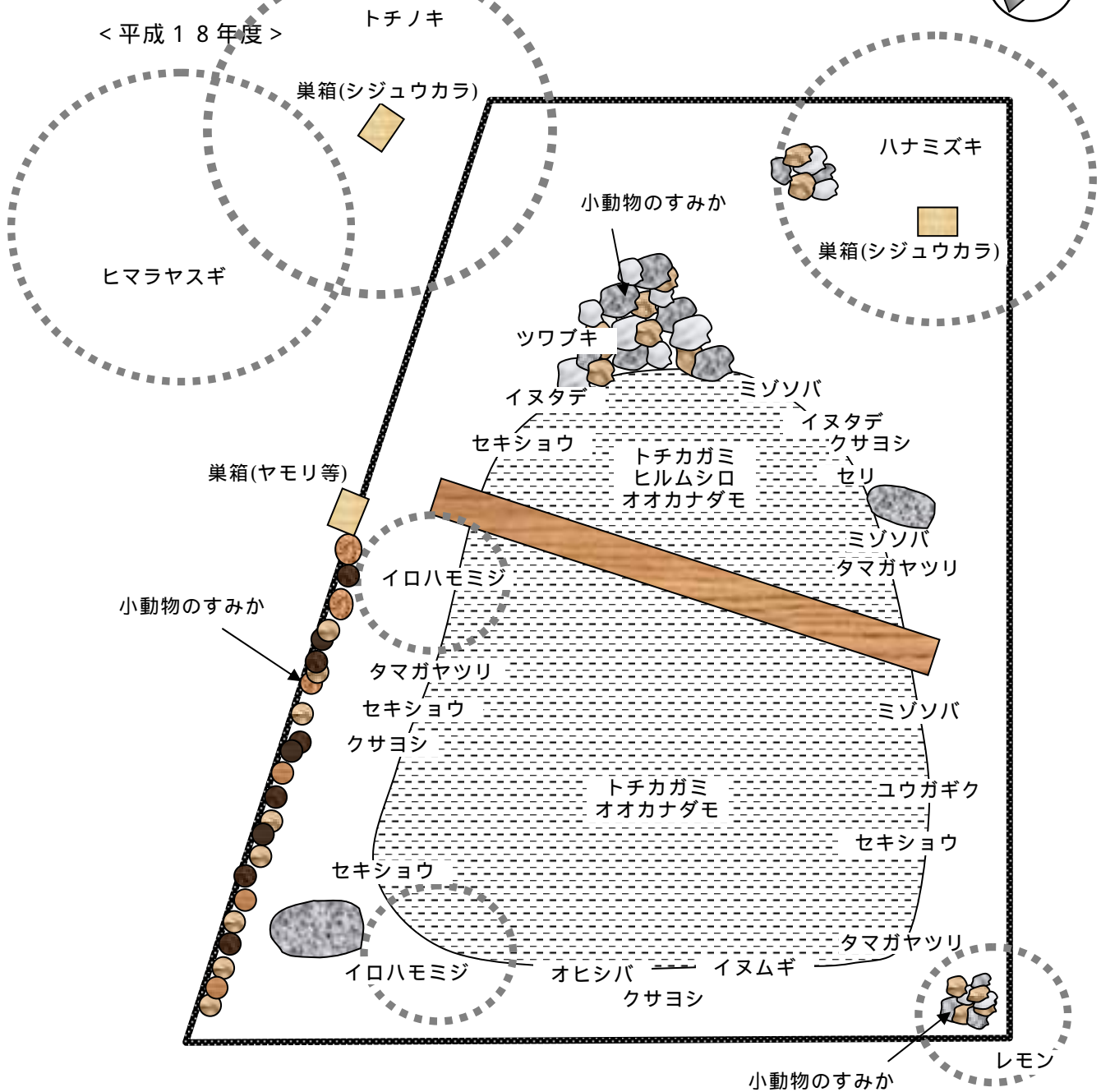
シジュウカラなど、目黒区内で生息している鳥やヤモリ、コウモリなどが使える巣箱をつくった。



巣箱は、ビオトープの周囲の樹木や柵、校庭内の樹木に設置した。



<平成18年度>



渡り廊下

作成時に植え付けたセリ、ミソソバ、クサヨシ、セキショウ、イヌタデが、水際を中心に生育範囲を広めている。浮葉植物のトチカガミ、ヒルムシロ、沈水植物のオオカナダモも順調に生育している。一方、田んぼ土から発芽したと思われる、タマガツリ、イヌムギなども生育し始めた。

今後は、南側の樹木(トチノキ、ヒラヤマスギ)が伸長し、日陰になりやすくなると予測されるため、これらの樹木の適切な剪定が必要になってくる。